

真のデファクトスタンダード

「PPP Ver.5 新統一基準対応版」

「作る」公会計から「使う」公会計へ!!

POINT
1

『作る』公会計! ~統一的な基準による地方公会計制度に完全対応

内容豊富な固定資産台帳

新統一基準に対応する項目を管理でき、マッチング機能により自動的に更新される固定資産台帳は、照合の手間を大幅に縮小。公共施設マネジメント項目も管理、更新可能。



複式簿記から手軽に財務書類を作成

執行データからの自動仕訳した複式簿記データ、その他個別仕訳の複式簿記データから手軽に「統一的な基準」に対応した財務書類を作成可能。



附属明細書も容易に作成

「統一的な基準」で特徴的な附属明細書も、財務4表と同等の重要な財務書類。自動出力可能な附属明細書も含め容易に作成可能。注記の文例も多数用意。

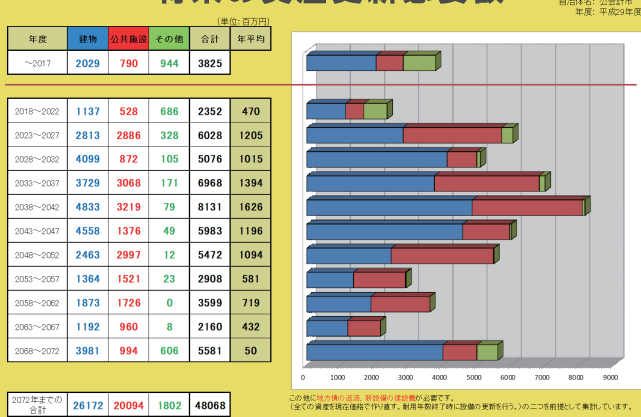
連結処理も簡単

地方公営企業決算統計から「統一的な基準」の財務書類へ自動組替。連結修正、連結相殺も簡単に処理可能。連結残高を保持した本格的な連結処理を実現。

POINT
2

『使う』公会計! ~公共施設マネジメント、行政評価にも使える活用機能

将来の資産更新必要額



「公共施設等総合管理計画」の主要データ出力

公共施設の物理的状況や施設別の収支状況、資産構成、財源残高を出力。

「行政評価」に活用できるコストデータを出力

予算事業別、事務事業別、施策事業別、行政目的別、目別、部門別の行政コスト計算書を出力。

「資金マネジメント」に活用できるデータを出力

財務四表の経年比較や歳入歳出資金移動日計表を出力。

「予算編成」に活用できるデータを出力

予測財務諸表にて予算の帰結を明示、予算実績対比分析表にて改善策を検討可能。

「まちづくり」に活用できる財務的数値とシミュレーション

行政活動実績計算書、資産増減計算書から、40年間の資金収支計算書、経営計画をシミュレーション。

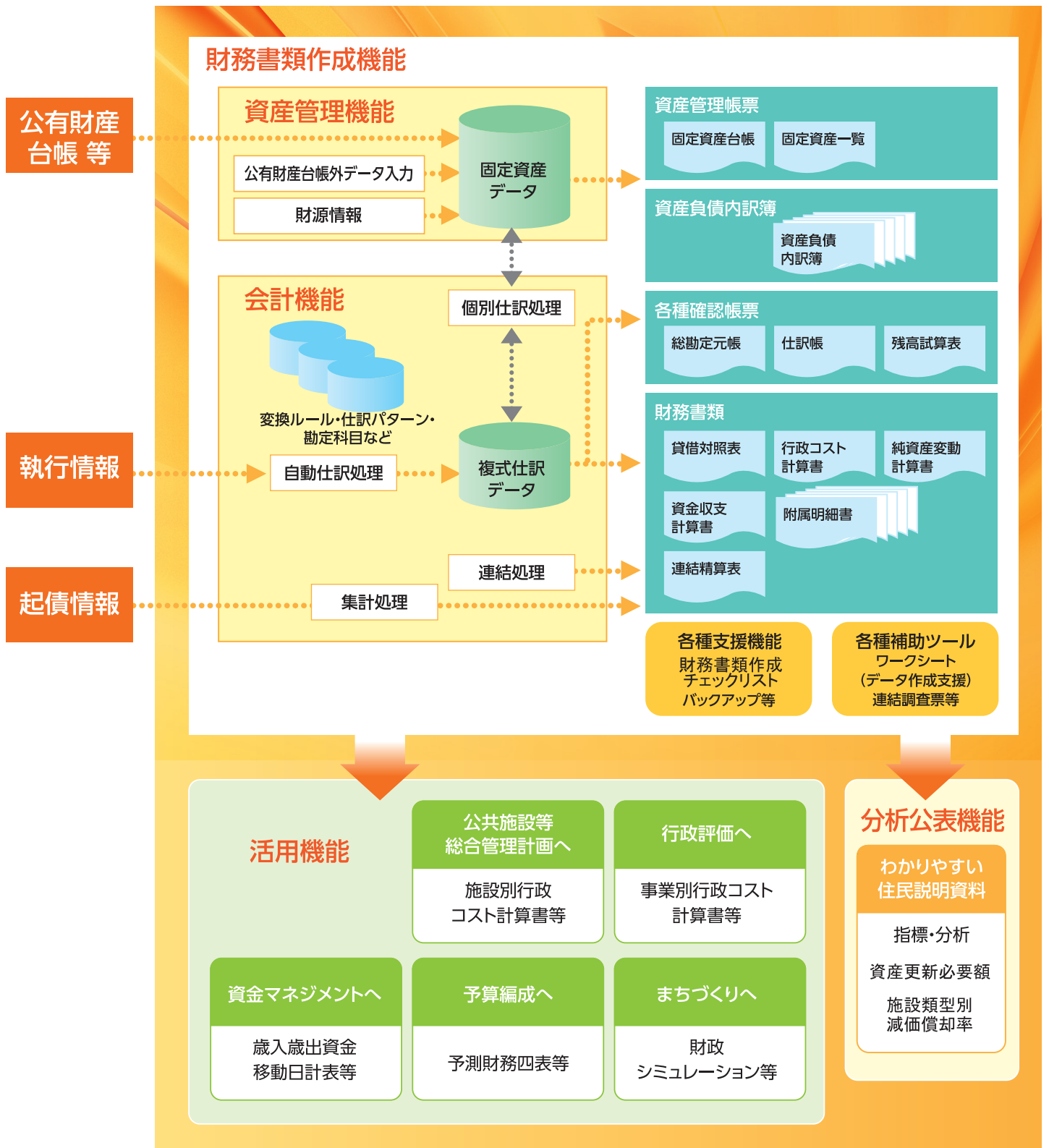
900団体を超える PPP 導入実績とノウハウを凝縮!

都道府県、市区町村、一部事務組合・広域連合からの様々なノウハウを凝縮。新たな要望も随時、機能強化中。

『公会計フルパック』での提供可!

ノートパソコンに、「PPP Ver.5 新統一基準対応版」、データベースソフト、Excelを搭載し、PPPのインストラクトも含んだ簡単導入モデルをご用意。

実践で鍛えられた唯一のソフトウェア『PPP』の基本機能に加え、
新たに自治体運営実務作業で活用できる機能を大幅に強化!



開発 株式会社 システム ディ **SystemD**

■公会計ソリューション事業部

本社 : 〒604-8172 京都市中京区烏丸通り三条上る
TEL.075-256-7780 FAX.075-256-5061

東京支社 : 〒105-0012 東京都港区芝大門2丁目10-12 KDX芝大門ビル6F
TEL.03-5777-5231 FAX.03-5777-5205

Home Page ■ <http://www.systemd.co.jp>
E-mail ■ ppp-info@systemd.co.jp

販売